

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

大台町教育委員会

令和8年4月23日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、小学校では国語・算数の2教科、大台町立小学校第6学年の児童51名が参加しました。調査結果については、小学校では、国語、算数、それぞれにおいて、児童はよくがんばり全国平均正答率より高い傾向にありました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【小学校 国語】

＜おおむね理解している問題＞

◇考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうか。

・【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く分として適切なものを選択する。

〔 2二 〕(正答率：約7割)

＜課題がみられた問題＞

◆筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうか。

・花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。

〔 2一 〕(正答率：約4割)

大問2ー

学習指導要領

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと
イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

課題がみられた問題

読み手もいっしょに考えて読むことができる文章になっているかどうかを確かめている。花山さんの文章のくふうをせつめいたものとして最も適切なものを選ぶ。

- 一 【花山さんの文章の一部】まで書き進めた花山さんは、読み手もいっしょに考えて読むことができる文章になっているかどうかを確かめています。花山さんの文章のくふうを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。
 - 2 結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。
 - 3 疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。
 - 4 複数の事例の長所と短所を比べて書いている。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに
夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアムジかい方がすずしいのではないかな。なぜ、長そでの服を着ているのか、ふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか
「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすど、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直して日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか
「熱中しょうかん境保健マニユアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。くふうのように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

（図）


解答の分析

無解答率 13.5%

正答 〈正答率 45.8%〉	選択肢 「3 疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いている。」
誤答 〈誤答率 54.2%〉	「花山さんの文章の一部」のつながりや配列に着目せず、調査を報告する文章の典型例として選択している。

＜今後の学習の手立て＞

「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。

- 「考えと理由や事例」「原因と結果」「疑問と解決」配列を意識して文章全体の筋道を整えていく。
- 段落のつながりや配列、その効果を教師が整理して提示
- 読み手への目的の明確化

【小学校 算数】

＜おおむね理解している問題＞

◇ 数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる。

・ 入園者数を千の位までのがい数で表す問題

〔 2 (1) 〕 (正答率：7割)

＜課題がみられた問題＞

◆ 立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうか。

・ 1辺が8cmの立方体の体積が何cm³かを求める式を書きましょう。

〔 1 (1) 〕 (正答率：約6割)
全国平均より－10.2%

大問 1 (1)

〔第5学年〕B 図形

(4) 立体図形の体積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。

ア つぎのような知識及び技能を身に付けること。

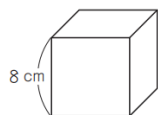
(イ) 立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解すること。

解答の分析

1

立方体や直方体について考えます。

- (1) 1 辺が 8 cm の立方体の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。



正答 〈正答率 62.5%〉	① $8 \times 8 \times 8$
誤答例	② 8×8 ③ 8×6 ④ 8×3 又は $8 + 8 + 8$
○分析と課題 ○一定数の児童の理解はある。 ②立方体のすべての辺が等しいことは理解しているが、誤って正方形の面積の公式を用いて考えている。 ③④立方体の特徴や、体積の計算による求め方について理解していないと考えられる。 単位体積の立方体をきちんと敷き詰めた1段分の個数と、その段の個数を掛け合わせることで、直方体や立方体の体積を求められることの理解に課題があると考えられる。	

*子どもたちが児童質問紙で肯定的に 回答した割合が高かった主な設問より

児童質問紙調査からみられた子どもの姿より 大台町の子どもたち

自分にはよいところ
があると思いますか。

79.6%

(全国 85.6%)

将来の夢や希望を
持っていますか。

83.7%

(全国 81.8%)

学校に行くのは楽し
いと思いますか。

81.7%

(全国 86.3%)

人が困っている時は、
進んで助けている。

89.8%

(全国 86.3%)

人の役に立つ人間に
なりたいと思う。

90%

(全国 96.1%)

児童質問紙調査からは、多くの子どもたちが「学校に行く楽しさ」「自分自身のこと」「自分と周りの人のこと」を、意欲的に考えている姿があります。9年間を見通した人権学習、豊かな自然環境を生かした体験活動をはじめ、学校教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな心をはぐくむ取組を進めてきた成果であるといえます。今後もさらに、子どもたち一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動を進め、子どもたちが将来に、夢や希望を持ち、大台町で育った生きる力を基にその実現に向かって進んでいけるよう努めていきます。大台町の子どもたちは、保護者や地域の皆様に支えられ成長しています。今後も、保護者や地域と連携しながら、大台町の魅力ある学校づくりを進めていきます。

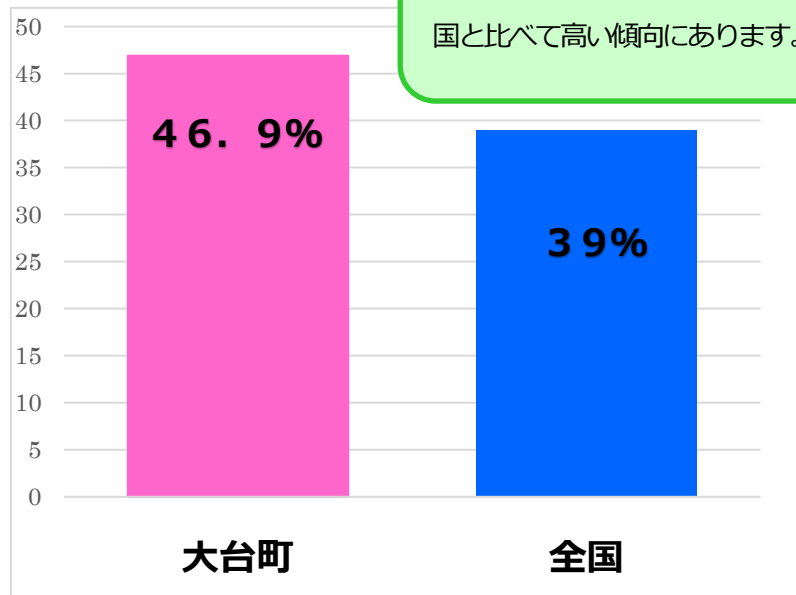
ご家庭でお願いしたいこと

Q わからないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

Q 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか

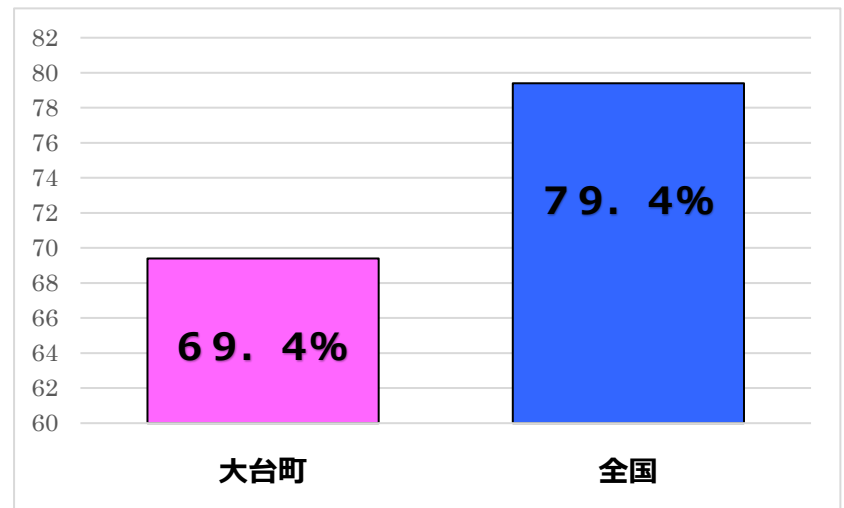
わからないことやくわしく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え工夫することができていると回答した児童は、全国と比べて低い傾向にあります。

【表1】



授業以外で1時間以上勉強していると回答した児童の割合は、全国と比べて高い傾向にあります。

【表2】



家庭で自主的に学習する習慣を身につけましょう



【表1】からわかる通り、「授業以外で1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合は、46.9%と低めではありますが、全国と比べると高い傾向にあります。毎日、繰り返しの練習や復習、学年に応じて自主学習に取り組むことで、自己調整力が育っていきます。また、【表2】からわかる通り、「わからないことやくわしく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え工夫することができている」と回答した児童の割合は、69.4%と全国平均と比べ、低い傾向にありますが、7割ほど肯定的に回答しています。また、肯定的に回答した児童ほど、国語・算数の正答率が高い傾向にありました。授業の中でも自ら考え、仲間と対話しながら課題解決を図る授業づくりを進めています。時間がかかっても自ら試行錯誤しながら解決したことは、子どもたちの力となっていきます。家庭においても引き続き、子どもたちが自ら学習を進められるよう励ましの声かけや集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

地域、保護者のみなさまへ

大台町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」の育成を目指して取り組んでいます。学力向上の中心となるのは、「授業づくり」です。本調査の結果を学校と共有し、子どもたちが「共に学ぶ喜び」「わかる面白さ」を実感できるよう日々授業改善を進めていきます。今後も、家庭、地域のご理解、ご協力をいただき、子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしします。